

＜プログラムについてのご案内＞

第1日目（8月3日 金曜日）

1. 受付：日本の参加者用と、海外からの参加者用の2つの受付を設けます。オプションプログラムに申し込んだ方は、受付時に参加費をお支払いください。資料を受け取りましたらメイン会場（天海）にお入りください。そのままプログラム（開会礼拝・オリエンテーション・主題講演Ⅰ）にご参加いただきます。（この時間は、まだお部屋への入室ができませんので、お荷物は会場の後方に置いてください。）
2. 開会礼拝の前（13～14時）に全国委員会を開催します。委員の方はご出席ください。
3. 開会礼拝：荒井偉作牧師（日本キリスト教団名取教会）に礼拝メッセージをいただきます。
4. オリエンテーション：館内の利用案内やプログラムに関する諸連絡をします。
5. 主題講演Ⅰ：平川新先生（歴史学者、宮城学院女子大学学長）にお話しいただきます。海外参加者向けに英語同時通訳を行います。
6. お部屋へのチェックイン後は、オープニングレセプションまでの時間、館内や近辺でお寛ぎください。ホテル内の大浴場も利用できます。
7. オープニングレセプションは18時からメイン会場（天海）で行います。浴衣でも構いません。オープニングレセプションでは、各国からの参加者の代表にご挨拶をいただきます（英語から日本語への逐次通訳があります）。食事はテーブル席でお召し上がりください。なお、お食事の際にアルコール類は提供いたしませんのでご了承願います。
8. JOCSのタベ：JOCSの活動を紹介します。今回は、海外参加者向けに英語での紹介を予定しています。
9. JCMA 総会：会員の方はご参加下さい。例年、夕食時に行っている各部会の紹介を総会内で行う予定です。

第2日目（8月4日 土曜日）

1. 黙想と祈り：植松功氏のギターと西脇洸一氏のバイオリンにより、朝の静かな祈りの時を持ちます。
2. 朝食：会場はお食事処「松島」で、バイキング形式です。
3. 主題講演Ⅱ：山浦玄嗣先生（医師、医療法人隆玄 山浦医院理事長）による講演です。海外参加者向けに英語同時通訳を行います。

4. 分科会Ⅰ部
 - ① 分科会1「放射能の問題に向き合う」
発題者：富永國比古氏、澤田和美氏
 - ② 分科会2「被災者支援」
発題者：Jメンセンディーク氏、大川記代子氏
 - ③ 分科会3「教育を通じた復興」
発題者：土屋滋氏、作山美智子氏
5. フリータイム：分科会終了後に写真撮影を行い、その後フリータイムとなります。近辺には多くの見所があります。昼食は各自でおとりくださり、自由にお過ごしいただきたいと思いますが、下記のオプションプログラムを準備しています（要事前申込）。
オプションプログラム
 - ① 松島湾語り部クルーズ 添乗責任者：猪狩友行氏
 - ② 東松島震災遺構バスツアー 添乗責任者：五十嵐忠彦氏
 - ③ 被災経験を聴く（南三陸町福話会） 責任者：作山美智子氏
6. 分科会Ⅱ部 適宜、日本語への逐時通訳を行います。
分科会4、5、6（各国からの発題とディスカッションを予定しています。）
7. ポスターセッション：メイン会場（天海）前に、参加者の取り組みなどを紹介するポスターを掲示します（英語）。発表者がポスターの前に立ち質疑応答を行います。
8. 夕食・学生プログラム報告・カルチャーナイト：夕食をお召し上がりいただくとともに、学生のフィールドワークの報告と、国際文化交流を行います。歌や踊りなど各国からの出し物が用意されています。みんなで楽しみましょう。
9. ICMDA-EA 理事会：各国の理事の会議を行います。

第3日目（8月5日 日曜日）

1. 黙想と祈り
2. 朝食・チェックアウト：朝食は前日と同じ会場「松島」です。朝食後は、各自チェックアウトをお済ませになり会場にお集まりください。
3. まとめセッション：分科会の報告等を行うとともに、各国からメッセージをいただきます。（逐次通訳あり）
4. 聖日礼拝：Chinzorig Jigjidsuren 牧師（日本在住のモンゴル人・元医師、Overseer of Immanuel Assembly Mongolia, National Director of the Asian Access pastors' training program）に聖日礼拝のメッセージをいただきます。（逐次通訳あり）
5. 次年度開催案内・閉会：次期総会は名古屋部会が担当します。